



京style

京都の季節の注目
スポットをご紹介します。



六角堂(六角通)



湯波半(麩屋町通)
075-221-5622



大西清右衛門美術館(釜座通)
075-221-2881

皆さんもご存じのように、京都の町は碁盤の目のように通りが走っています。他府県の方はその細い通りの多さに驚かれるのではないのでしょうか。京都では覚え歌もあり、街中の交差点はその交差する通りの名前がついているので住所を聞けば大まかな位置がわかります。

東西の通りの覚え歌「丸竹夷」はよく知られていますが、南北の通りの覚え歌は「寺御幸」です。寺町、御幸町、麩屋町、富小路、柳馬場、堺町、高倉、間之町、東洞院、車屋町に、烏丸通。両替町、室町から、堀川を過ぎて千本まで、全部で三十もの通りが続きます。そんな通り名にまつわる由来を少しご紹介します。

京極寺町、寺町通は豊臣秀吉の都市計画でお寺が集められた通りです。その頃は京都のお寺の3分の1がこの通りに集まっていたということです。今も本能寺をはじめ多くのお寺があります。

御幸町通も秀吉が造った通りです。秀吉が伏見城から御所に行く時この通りを行列したということで御幸町という名がついたとか。天下をとった秀吉の行列はさぞ賑やかだったことでしょう。

麩屋町通は押小路を下がったところに、白山神社があることから、白山通ともよばれるそうです。麩屋町には、麩屋があったのでしょうか。今は有名な湯葉屋があります。

室町通は足利将軍の花の御所がありました。ここは京都が世界に誇る着物問屋の町です。又、祇園祭りを支える町衆の通りで、この通りには山と鉾はが7つも立ちます。

釜座通は三条の辺りに、釜をつくる鋳物屋が多かったため釜座通といえます。他にも車屋町は、車屋が集まっており、衣棚では、袷袷衣を作っていました。

歌の最後、千本通は平安京の朱雀大路、幅が80メートルもあったそうです。

こんな通りの由来を感じながらゆっくり街中を散策して見るのも面白いかもしれません。きっと何か発見があるはずです。もちろん交差点では左右確認、譲り合いの心で交通安全に注意しながら散策してください。

楽しく 交通安全をアピール!

まだまだ暗くなる時間が早い季節が続きます。通学に使用するランドセルやカバンにつける反射ホルダーは車のライトなどに明るく反射し運転手さんに子供の存在を気付かせます。

子供の大好きなキャラクターで交通安全の意識をアピールします。



今すぐ
アクセス!

京都 平岩

株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル
TEL 075-222-1041

* 配信停止をご希望の方はお手数ですが、弊社まで「配信停止」とご記入いただきご返信ください。